

授業科目 感染看護学特論Ⅳ (感染管理・感染看護の 発展への基盤)	科目概要・形式 2単位30時間(15コマ) 講義科目	配当年次 博士前期1年次 通年開講	オンライン参加 <input type="checkbox"/> ・不可 「下記6,7.参照」
科目責任者	福井 幸子		
担当者	福井 幸子、新改 法子		
1. 科目のねらい・目標 <ねらい> 感染管理、感染症看護における看護実践、看護教育および課題研究で活用するために代表的な理論を理解し、活用について修得する。また、感染管理、感染症看護に関する国内外の文献を検討し、最新のエビデンスに基づく感染管理、感染症看護ケアを探求する。そこから導かれた自身の課題を明確にし、解決するための方略を探求する。 <目標> 1) 文献検討および看護活動の実際から、感染管理および感染看護における課題について説明できる。 2) 感染管理及び感染看護の実際・教育・研究における理論の必要性について説明できる。 3) 文献や理論を通して、課題解決についての自分の考えを述べるができる。			
2. 授業計画・内容 1-2回：感染管理に関する文献検討と看護活動についての討議①(福井・新改) 標準予防策・感染経路予防策、手指衛生 3-4回：感染管理に関する文献検討と看護活動についての討議②(福井・新改) デバイス関連感染症(CRBSI、VAP、CAUTI)およびSSI 5-6回：感染管理に関する文献検討と看護活動についての討議③(福井・新改) 針刺し予防等の職業感染、洗浄・消毒・滅菌とファシリティ・マネジメント 7-8回：感染看護に関する文献検討と看護活動についての討議④(福井・新改) 感染症患者及び易感染症患者への看護ケアとその評価 9回：実践・教育・研究における理論活用の意義と方法(福井) 10-11回：感染管理及び感染看護の実際・教育・研究に関連する理論についての討議①(福井・新改) アンドラゴジー理論、行動変容ステージモデル(Transtheoretical model; TTM理論) 12-13回：感染管理及び感染看護の実際・教育・研究に関連する理論についての討議②(福井・新改) 健康行動学理論(健康信念モデル)、Nudge理論 14-15回：感染管理及び感染看護における課題と対策についての討議(福井・新改)			
3. 教科書、参考書 教科書：指定はない。 参考書： 1) 筒井真優美編：看護理論家の業績と理論評価 第2版, 医学書院, 2021. ISBN:978-4-260-03961-1 2) Mary Fran Tracy, Eileen T.O' Grady 著：中村美鈴/江川幸二監訳：高度実践看護 統合的アプローチ, 第2版, へるす出版, 2020. ISBN:978-4-89269-996-2 3) 操華子, 川上和美編：看護学テキストNICE 感染看護学, 南江堂, 2022. ISBN:978-4-524-22978-9			
4. 成績評価方法 講義の取り組み状況40%、プレゼンテーション・質疑応答の内容60%で総合的に評価する。			
5. 受講要件 感染看護専門看護師コースの学生は必修			

6. 社会人学生に対する配慮

オンライン授業等は相談があれば個別に対応する。

7. その他

課題について文献検討を行い、プレゼンテーション資料を作成して臨んでください。

本科目は、一部オンライン講義を含みますが、基本的に対面による授業とします。

やむを得ない理由による欠席等でオンデマンドを希望する場合は事前に教員に相談してください。

視聴を許可した場合は、授業の概要および発問への意見をレポートにまとめて、指定した期日内に提出していただきます。授業担当者または科目担当者が学習目標に沿って評価し、目標達成が認められた場合に出席とみなします